

革マル＝鉄道労連と結託した国鉄当局の「人活」廃止に伴い 動労千葉・国労解体を狙った「強制配属」

日刊 動労千葉

87. 3. 5.

No. 2493

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

差別・分断・隔離・追放の配属攻撃を許さな

国鉄当局は、四月を待たずして動労千葉・国労解体を唯一の目的とした不当極まりない「強制配属・役員ページ」攻撃にうってでてきている。動労千葉・国労組合員への徹底した差別・排除を哀訴する革マルⅡ鉄道労連と結託した国鉄当局による新会社採用者の中から二万名もの国鉄労働者の首切り攻撃の開始である。杉浦・松崎連合、革マルⅡ鉄道労連を打倒・解体・一掃せよ。

なんの整合性もない

当局は、三月三日以降、全国各所において、三月十日「人活センター」廃止に伴う個人配属の事前通知を行ってきた。その内容たるや、なんの整合性もなく、ただ組合解体を目的としたものであり、断じて容認できるものではない。

千鉄当局は、差別・分断・隔離・追放Ⅱ首切りの配属攻撃にうってでてきたのだ。「人活」から元の職場に戻さずに

幕張電車区所属で成東、佐原、木更津駅兼務。また、勝浦運転区所属で一の宮駅兼務、しかも通勤事情など全く考慮しない配属を強行しようとしている。さらに、銚子運転区では、本来の業務である乗務員から外し、駅へ営業係として兼務発令するというものだ。何よりも、勝浦運転区では不当極まりない。支部役員・活動家を根こそぎ、安房鴨川駅兼務発令としたのである。

「人活廃止」はペテンだ

これは「人活廃止」どころか職場内「清算事業団」化そのものだ。当局の「人活廃止」はペテンだ。新たな本務と余剰を区別しようとする差別・選別である。動労千葉・国労組合員への徹底した差別・排除を哀訴する革マルⅡ鉄道労連は三月配属で「二万名を首にせよ」「国労組合員を本務につかせるな」と中曽根

・杉浦に泣きついたのだ。自分だけが生きのこるためには仲間をも蹴落とす。これが革マルのやり方だ。動労組合員を無理矢理「退職」に追いこんだ。「定員割れ」の事態に動労「退職者」も怒っている。松崎にだまされたのだ。怒りが渦まいている。そればかりか、動労千葉・国労が本州でほとんど採用という現実には松崎の策動は完全に破産。その、のりきりを図らんがために「定員枠を見直せ」「国労を差別しろ」と絶叫。

松崎救済のために九州・北海道で七千名の首切り、百名のレッドページとして露骨なまでの組合差別を当局は強行した。いま、新たに「強制配属・役員ページ」の不当な配属攻撃にうってでてきた。松崎・志摩と結託し、動労千葉・国労解体を唯一の目的とした不当な配属を強行せんとする当局を断じて許さず、あらゆる手段で闘いぬぎ、粉碎していかなくてはならない。

「共同宣言は新事業体の職員採用問題で改革努力したは者や妨害する者が居座っては職場は乱れる」

3月配属で分割・民営化を阻止し、差別・排除を断つてはならない

配属で区別

「鉄道労連が新事業体の中核」で一致！

共同宣言は新事業体の職員採用問題で改革努力したは者や妨害する者が居座っては職場は乱れる

鉄労新聞 新生